

2013年度 大学入試を振り返る

本誌4・5月号では、2013年度入試の速報として大学入試センター試験の概況と国公立大、主要私立大の出願状況についてお伝えした。

この度、全国の高等学校の先生方にご協力いただき約187万件の貴重な入試結果調査（可否）データを集めることができた。また、各大学からも最終的な入試結果資料を送付いただいたので、本誌ではこれらの集計結果を踏まえ、2013年度入試を総括する。なお、個々の大学の入試結果については25ページ以降に掲載しているの是非ご活用いただきたい。

Part 1 国公立大学

今春入試の概況については、既に本誌4・5月号で志願状況から見た分析結果をレポートした。改めてそのポイントを整理すると、以下の3つが挙げられる。

- ① 18歳人口の増加により大学志願者数が増加
- ② センター試験の平均点ダウンにより、国立大の志願者数が減少
- ③ 文低理高、資格系統人気の継続

この春の18歳人口は昨年より39,907人増の1,231,117人（前年比103%）だった。センター試験の志願者数も昨年より17,807人増え、573,344人（前年比103%）となった。

【表1】はこの度判明した合格者数を含む国公立大の入試結果概況である。国公立大の志願者数は前期日程が202人増の267,928人（前年比100%）、後期日程が7,006人減の195,125人（前年比97%）となった。昨年実施した河合塾の模試では、国公立大は安定した人気を保っており、18歳人口の増加を受けて志望者数は増加していた。しかし、センター試験の平均点が大きくダウンしたため、原則5(6)教科を課す国立大の出願自体を諦めた生徒が多かったようだ。後期日程では難関大や医学科を中心に募集停止が続き、模試の段階でも志望者はやや減少していた。ここへ平均点のダウンという要因が加わ

り、センター試験の配点比率が高い大学の多い後期日程は、模試以上に大きく減少する結果となった。一方で、公立13大学で実施されている中期日程の志願者数は前年比107%と大きく増加した。公立大はセンター試験の必要教科数が少ない大学が多く、十分な得点が取れた教科のみで勝負できるため、センター試験が難化すると志願者が増加する傾向にある。今春入試でも、中期日程だけでなく前期・後期日程ともに志願者が増加した。

合格者数をみると、前期日程は90,861人から91,795人とほぼ前年並みだが、後期日程は募集人員が減少しているにもかかわらず24,526人から25,225人へと増加した。倍率は前期日程は2.9倍で前年並みだが、後期日程は8.2倍から7.7倍にダウンしている。近年後期日程の廃止が相次いだことにより、本来志望している大学を後期日程で受験することができず、不本意な出願を行う受験生が増えている。その結果、後期日程で合格しても結局は入学手続きをしないというケースも増え、大学側は多めの合格者を出さざるを得ないという事情があるのだろう。

【表1】 国公立大入試結果 全体概況

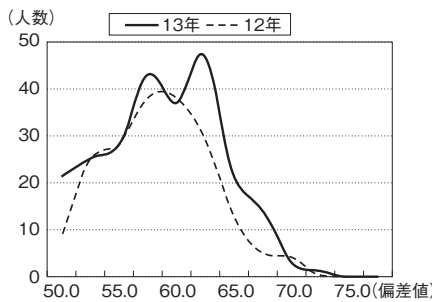
| 区分 | 募集人員 | | 志願者数 (A) | | | 合格者数 (B) | | | 倍率 (A/B) | | |
|-----|------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|-----|-----|
| | 12 | 13 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | |
| 国立 | 前期 | 64,588 | 64,979 | 208,315 | 207,589 | 100% | 71,934 | 72,474 | 101% | 2.9 | 2.9 |
| | 後期 | 16,147 | 15,941 | 159,170 | 151,379 | 95% | 19,649 | 20,093 | 102% | 8.1 | 7.5 |
| | 全体 | 80,735 | 80,920 | 367,485 | 358,968 | 98% | 91,583 | 92,567 | 101% | 4.0 | 3.9 |
| 公立 | 前期 | 14,584 | 14,793 | 59,411 | 60,339 | 102% | 18,927 | 19,321 | 102% | 3.1 | 3.1 |
| | 中期 | 1,898 | 1,933 | 24,943 | 26,614 | 107% | 4,457 | 4,432 | 99% | 5.6 | 6.0 |
| | 後期 | 3,542 | 3,571 | 42,961 | 43,746 | 102% | 4,877 | 5,132 | 105% | 8.8 | 8.5 |
| | 全体 | 20,024 | 20,297 | 127,315 | 130,699 | 103% | 28,261 | 28,885 | 102% | 4.5 | 4.5 |
| 国公立 | 前期 | 79,172 | 79,772 | 267,726 | 267,928 | 100% | 90,861 | 91,795 | 101% | 2.9 | 2.9 |
| | 中期 | 1,898 | 1,933 | 24,943 | 26,614 | 107% | 4,457 | 4,432 | 99% | 5.6 | 6.0 |
| | 後期 | 19,689 | 19,512 | 202,131 | 195,125 | 97% | 24,526 | 25,225 | 103% | 8.2 | 7.7 |
| | 全体 | 100,759 | 101,217 | 494,800 | 489,667 | 99% | 119,844 | 121,452 | 101% | 4.1 | 4.0 |

※ 5月31日現在河合塾集計

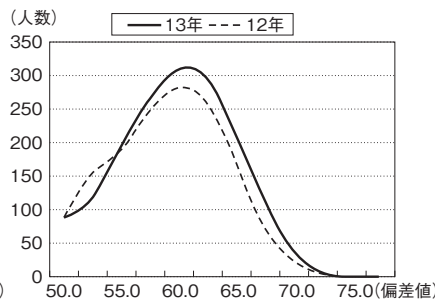
【表2】 国立難関10大学入試結果

| 大学名 | 前期 | | | | | | | | | 後期 | | | | | | | | | | |
|------|--------|--------|----------|--------|-------|----------|--------|-------|----------|-----|-------|-------|----------|--------|------|----------|-------|------|----------|------|
| | 募集人員 | | 志願者数 (A) | | | 合格者数 (B) | | | 倍率 (A/B) | | 募集人員 | | 志願者数 (A) | | | 合格者数 (B) | | | 倍率 (A/B) | |
| | 12 | 13 | 12 | 13 | 13/12 | 12 | 13 | 13/12 | 12 | 13 | 12 | 13 | 13/12 | 12 | 13 | 13/12 | 12 | 13 | | |
| 北海道 | 1,939 | 1,939 | 5,710 | 6,130 | 107% | 2,074 | 2,081 | 100% | 2.8 | 2.9 | 478 | 483 | 4,662 | 4,314 | 93% | 537 | 542 | 101% | 8.7 | 8.0 |
| 東北 | 1,860 | 1,865 | 4,945 | 5,101 | 103% | 2,009 | 2,013 | 100% | 2.5 | 2.5 | 93 | 93 | 1,294 | 1,505 | 116% | 103 | 116 | 113% | 12.6 | 13.0 |
| 東京 | 2,963 | 2,963 | 9,991 | 9,329 | 93% | 3,008 | 3,009 | 100% | 3.3 | 3.1 | 100 | 100 | 3,224 | 2,908 | 90% | 100 | 100 | 100% | 32.2 | 29.1 |
| 東京工業 | 923 | 923 | 3,999 | 4,101 | 103% | 964 | 969 | 101% | 4.1 | 4.2 | 20 | 20 | 567 | 532 | 94% | 22 | 22 | 100% | 25.8 | 24.2 |
| 一橋 | 840 | 840 | 2,961 | 2,677 | 90% | 871 | 870 | 100% | 3.4 | 3.1 | 80 | 80 | 1,368 | 1,268 | 93% | 86 | 87 | 101% | 15.9 | 14.6 |
| 名古屋 | 1,708 | 1,718 | 5,342 | 4,884 | 91% | 1,837 | 1,842 | 100% | 2.9 | 2.7 | 5 | 5 | 63 | 52 | 83% | 5 | 5 | 100% | 12.6 | 10.4 |
| 京都 | 2,846 | 2,846 | 8,209 | 8,460 | 103% | 2,932 | 2,928 | 100% | 2.8 | 2.9 | | | | | | | | | | |
| 大阪 | 2,717 | 2,834 | 7,148 | 7,203 | 101% | 2,879 | 2,997 | 104% | 2.5 | 2.4 | 498 | 346 | 5,117 | 3,349 | 65% | 570 | 409 | 72% | 9.0 | 8.2 |
| 神戸 | 1,823 | 1,872 | 6,107 | 5,852 | 96% | 1,937 | 2,016 | 104% | 3.2 | 2.9 | 493 | 443 | 5,143 | 4,381 | 85% | 602 | 548 | 91% | 8.5 | 8.0 |
| 九州 | 2,026 | 2,030 | 5,458 | 5,607 | 103% | 2,187 | 2,191 | 100% | 2.5 | 2.6 | 332 | 340 | 3,278 | 3,079 | 94% | 372 | 384 | 103% | 8.8 | 8.0 |
| 全体 | 19,645 | 19,830 | 59,870 | 59,344 | 99% | 20,698 | 20,916 | 101% | 2.9 | 2.8 | 2,099 | 1,910 | 24,716 | 21,388 | 87% | 2,397 | 2,213 | 92% | 10.3 | 9.7 |

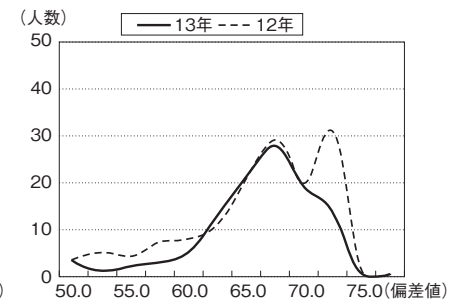
【グラフ3-1】 北海道大総合入試文系受験者の学力分布



【グラフ3-2】 東京工業大前期受験者の学力分布



【グラフ3-3】 名古屋大(医)前期受験者の学力分布



※グラフは該当大受験者の全統記述模試時の偏差値をもとに作成した学力分布（河合塾入試結果調査データより）

東京大・一橋大・名古屋大は志願者大幅減
大阪大 後期日程廃止の余波も

地区別の状況を簡単に述べると、震災の影響から昨年志願者が減少していた東北地区が、今春入試では前期日程前年比101%と微増している。河合塾の入試結果調査における各大学の出身地別受験者をもとに、東北・北関東の拠点大学では他地区からの受験者が増えており、震災の影響は薄れつつある。一方で、関東・近畿など都市部では志願者が減少した。なかでも関東地区は、難関大を中心に他地区の受験者が占める割合が減少しており、受験生の地元志向は今春も続いていると言える。

【表2】は難関10大学の入試結果をまとめたものである。北海道大は3年目を迎える総合入試が文系・理系ともに人気が高く、志願者が増加した。【グラフ3-1】は北海道大の総合入試文系受験者の2次偏差値分布である。河合塾が設定する2次試験のボーダーランク（偏差値62.5）以上の層で受験者が増加しており、ハイレベルな入試になったことがわかる。東京大は文科類最難関の文科一類が倍率3倍を切り、13年ぶりに第一段階選抜が実施されなかった。【表4】は前年の第2回・第3回マーク模試で東京大（文科一類）を第一志望としていた受験生が、最終的に出願した大学を2年分調査したものである。志望を変えず東京大（文科一類）に出願した生徒は昨年度の59.7%から今春は55.4%と4.3%減少している。センター試験で思うように得点が伸びなかった生徒が志望を変更した様子が伺える。社会科学系学部で構成される一橋大は

前期日程で前年比90%と大きく志願者を減らしており、倍率も3.4倍から3.1倍へダウンした。一方、理工学系学部で構成される東京工業大は前期日程で前年比103%と堅調に志願者を増やしており、文低理高の傾向が見て取れる。【グラフ3-2】は東京工業大の前期日程受験者の2次偏差値分布である。昨年と比べると分布は一回り大きくなった上、ボリュームゾーンが右側へシフトしている。東京工業大では、センター試験の点数が基準点のみに利用されるため、今春は東京大からの志望変更者も例年以上に多かった。センター・リサーチ後の志望校変更の実態を見ると、東京大（理科一類）から東京工業大（第4類、第5類）へ志望を変更した受験生が多い。ボーダーランクも第4類と第5類でアップしている。名古屋大は約1割志願者を減らした。中部地区は国公立大が志願者を減らす一方、私立大で軒並み志願者が増加している。名古屋大では特に今年度から2段階選抜を導入した医学科が前年比56%と極端に減少した。名古屋大（医-医-前）受験者の2次偏差値分布をみると【グラフ3-3】、偏差値70.0以上の山が1つ削られている。成績上位層が集まらず、ボーダー

【表4】 昨年模試で東京大（文科一類）を志望した受験者の出願校

| 出願校 | 12 | | 13 | |
|------|------|------|------|------|
| | 出願者数 | 占有率 | 出願者数 | 占有率 |
| 文科一類 | 506 | 59.7 | 402 | 55.4 |
| 文科二類 | 95 | 11.2 | 103 | 14.2 |
| 文科三類 | 95 | 11.2 | 77 | 10.6 |
| その他 | 152 | 17.9 | 143 | 19.7 |
| 合計 | 848 | 100 | 725 | 100 |

※河合塾入試結果調査データから集計（左：人数、右：占有率）

ランクもダウンした。

その他今春入試の難関大トピックスとして、**大阪大**（理、基礎工）の後期日程廃止が挙げられる。**【表5】**は京都大（理一前）を受験した生徒の主な後期出願先を昨年と今年で比較したものである。昨年約3割を占めていた大阪大がなくなり、東北大、神戸大の占有率が大幅に増加している。この結果、**東北大**の理学部後期日程では志願者が前年比127%と増加した。センター試験の理型の平均点が得点率で4%下がっているにも関わらず、ボーダー得点率は5学科中4学科で前年よりアップ、または維持している。**神戸大**の理、工学部後期日程では目立った志願者の増加は見られなかったが、理学部でボーダーランクを設定している4学科のうち3学科でランクがアップしており、昨年とは受験者の層が異なることがわかる。

【表5】 京都大（理一前） 受験者の後期出願先

| | 12 | | 13 | |
|--------------|-----|------|------------|---------|
| | 人数 | 占有率 | 人数 | 占有率 |
| 1 大阪大（理一後） | 114 | 26.6 | 東北大（理一後） | 73 18.7 |
| 2 大阪府立大（工一中） | 50 | 11.7 | 神戸大（理一後） | 62 15.9 |
| 3 神戸大（理一後） | 42 | 9.8 | 九州大（理一後） | 45 11.5 |
| 4 東北大（理一後） | 40 | 9.3 | 大阪府立大（工一中） | 42 10.7 |
| 5 九州大（理一後） | 38 | 8.9 | 北海道大（理一後） | 37 9.5 |

※河合塾入試結果調査データから集計（左：人数、右：占有率）

「文低理高」の傾向をベースに センター試験の難化が影響

次に学部系統別の状況を確認しておこう**【表6】**。今春入試はここ数年の「文低理高」の流れを汲みつつ、センター試験の難化に影響を受けている。

文系ではすべての系統で志願者が減少した。特に「**法・政治**」学系は前年比92%と大きく減っており、2010年度から見ると約15%志願者を減らしたことになる。資格系学部の人気から志願者の増加が続いていた「**教員養成課程**」も前年比96%と減少しており、人気はひと段落したようだ。ここ数年、私立大で教育系の大学・学部の新設が相次いでおり、志願者が

【表6】 国公立大（前期） 学部系統別入試結果

| 系統 | 志願者数 (A) | | | 合格者数 (B) | | | 倍率 (A/B) | |
|-------------|----------|---------|------|----------|--------|------|----------|-----|
| | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 |
| 文・人文 | 26,138 | 25,651 | 98% | 9,221 | 9,100 | 99% | 2.8 | 2.8 |
| 社会・国際 | 8,972 | 8,824 | 98% | 3,130 | 3,211 | 103% | 2.9 | 2.7 |
| 法・政治 | 13,073 | 12,082 | 92% | 4,781 | 4,797 | 100% | 2.7 | 2.5 |
| 経済・経営・商 | 26,405 | 25,854 | 98% | 9,945 | 10,132 | 102% | 2.7 | 2.6 |
| 教育－教員養成課程 | 21,658 | 20,899 | 96% | 7,837 | 7,863 | 100% | 2.8 | 2.7 |
| 教育－総合科学課程 | 7,684 | 7,405 | 96% | 2,709 | 2,700 | 100% | 2.8 | 2.7 |
| 理 | 16,581 | 16,264 | 98% | 5,548 | 5,749 | 104% | 3.0 | 2.8 |
| 工 | 68,182 | 71,757 | 105% | 25,513 | 25,676 | 101% | 2.7 | 2.8 |
| 農 | 17,910 | 17,639 | 98% | 5,920 | 5,933 | 100% | 3.0 | 3.0 |
| 医・歯・薬・保健 | 43,452 | 42,930 | 99% | 11,053 | 11,171 | 101% | 3.9 | 3.8 |
| 医 | 20,483 | 19,676 | 96% | 3,671 | 3,693 | 101% | 5.6 | 5.3 |
| 歯 | 1,864 | 2,047 | 110% | 484 | 480 | 99% | 3.9 | 4.3 |
| 薬 | 3,107 | 3,391 | 109% | 817 | 827 | 101% | 3.8 | 4.1 |
| 看護 | 11,857 | 11,730 | 99% | 4,083 | 4,181 | 102% | 2.9 | 2.8 |
| 医療技術・他 | 6,141 | 6,086 | 99% | 1,998 | 1,990 | 100% | 3.1 | 3.1 |
| 生活科学 | 2,480 | 2,674 | 108% | 787 | 805 | 102% | 3.2 | 3.3 |
| 芸術・スポーツ科学 | 7,563 | 7,648 | 101% | 1,603 | 1,663 | 104% | 4.7 | 4.6 |
| 総合・環境・情報・人間 | 7,628 | 8,301 | 109% | 2,814 | 2,995 | 106% | 2.7 | 2.8 |
| 全体 | 267,726 | 267,928 | 100% | 90,861 | 91,795 | 101% | 2.9 | 2.9 |

※5月31日現在河合塾集計、学部系統の分類は河合塾による

分散したこともあるだろう。理系では昨年大幅に志願者を増やした「**理**」「**農**」学系が減少した。模試段階では人気が高かったが、難関大を中心に設置されていることからセンター試験難化により敬遠された様子がうかがえる。一方で、「**工**」学系は幅広い難易度の大学に設置されているため、センター試験の得点が伸びなかった受験生の受け皿となった大学も多く、模試の勢いそのまま志願者を増やした。

医療系の動向にもセンター試験難化の影響が見られ、模試で人気を集めていた「**医**」が、前年比96%と減少している。同じ医療系の「**歯**」が前年比110%と大幅に志願者を増やしているのは、医学科志望者の流入が例年以上に多かったこともあるだろう。「**薬**」も1割近く志願者を増やし、「**歯**」「**薬**」はともに数年前までの不人気傾向は払拭されたと言える。

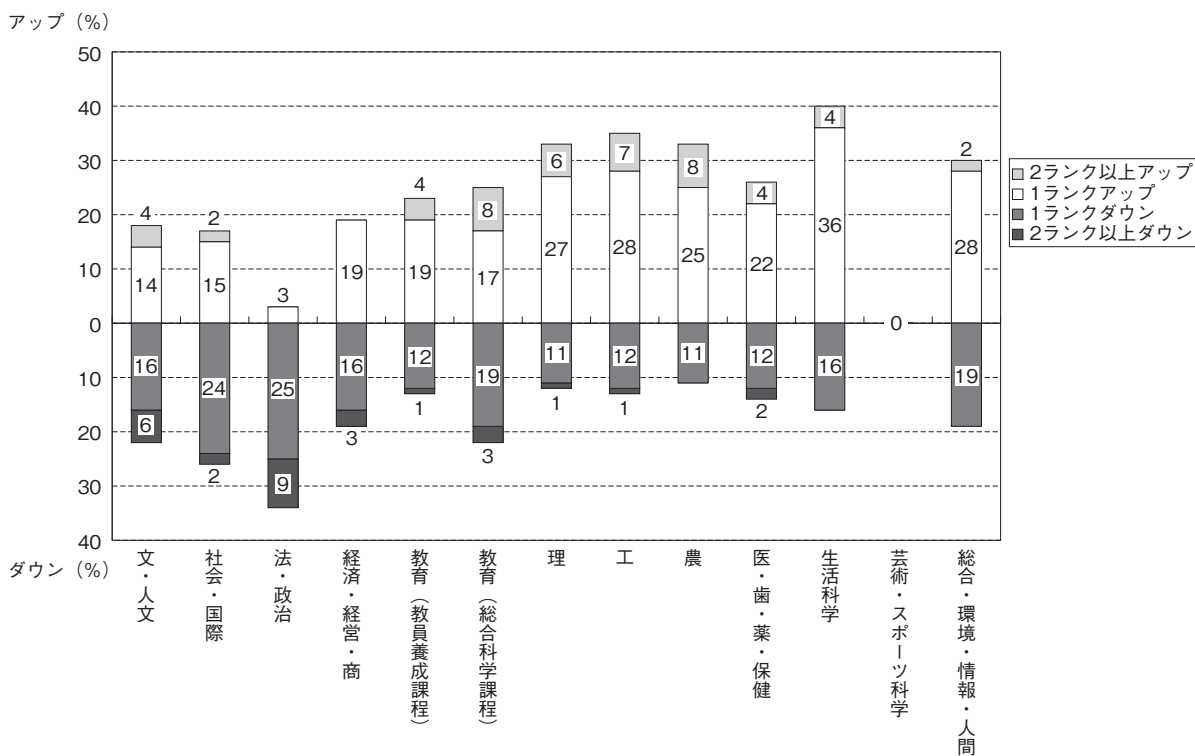
【グラフ7】は、国公立大前期日程について、2013年度の可否のデータから設定した実態ランクのアップ・ダウン件数を系統別に表したものである。ただし、系統によって募集区分が大きく異なるため、各系統の募集区分数におけるアップ・ダウン件数の占有率を表示した。

人文・社会科学系の学系ではランクアップがランクダウンを上回る系統はなかった。なかでも「**法・政治**」学系のダウン件数が多く、入試難易度は易化傾向にあるのがわかる。同じ社会科学系でも「**経済・経営・商**」はアップとダウンがほぼ同数である。「**教員養成課程**」は前述の通り志願者は減少したが、ランクアップの件数が多い。

理系では「**工**」学系だけでなく、志願者が減少していた「**理**」「**農**」学系でもアップ件数がダウン件数を大きく上回った。ここからも「**理**」「**農**」学系の出願を取りやめたのは成績下位層であり、中上位層の動向は模試のままであることがわかる。同じく「**医・歯・薬・保健**」系統もアップ件数がダウン件数を上回っており、はっきりとした文低理高の傾向を確認することができる。なお、医療系の「**看護**」でも近年学部・学科の新設が相次ぎ、志願者が分散している。ランクアップ・ダウンの件数も多かったが、激しい隔年現象を起こしているケースもあるため、注意が必要だ。25ページ以降に3年分の入試結果を掲載しているので、個々の大学の志願状況を確認してほしい。

系統別の志望動向は今年5月に行った第1回全統マーク模試でもあまり変化しておらず、文低理高の流れは続いている。ただし、理系の中では「**理**」学系よりもより就職に有利な「**工**」学系を目指す生徒が増えているようだ。「**リケジョ**」という言葉に耳にする機会が増えたが、特に女子受験者の中で「**工**」「**農**」学系志望者が増加している。

【グラフ7】 国公立大前期二次ランク 系統別アップ・ダウン件数（率）



2014年度入試のトピックス

最後に本誌発行時点で判明している来年度入試の主な情報をまとめておく。

まず大学の 신설では、**山形県立米沢栄養大**が短期大学の健康栄養学科を4年制大学化する形で新設される。管理栄養士課程のみの1学部1課程体制で、認可されれば山形県内で初の管理栄養士受験資格が得られる4年制大学となる。入学定員は40名を予定しており、一般入試では前期日程24名、後期日程で4名を募集する。前期日程はセンター試験で英・国・数・理2の4教科5科目、個別試験で小論文と面接を課す。福井県には**敦賀市立看護大**が今春閉学した敦賀短期大のキャンパスを利用して新設される。また、これに伴い敦賀市立看護専門学校が平成26年度で新生の受け入れを打ち切ることが決まっている。こちらも看護学部のみ1学部1学科で、入学定員は50名の予定。一般入試は募集人員35名で、3月上旬に別日程で実施する。英必須、国・数から1教科を選択する個別試験のみを行い、センター試験の得点は用いられない。

学部学科の改組では、**秋田大**が大掛かりな学部学科の再編を行う。まず工学資源学部を理工学部へ改組し、新たに国際資源学部を新設する。教育文化学部でも総合科学課程の3課程が一本化され、地域文化課程となる予定だ。**奈良女子大**は全学部にもたがる改組を行う。理学部では5学科を2学科に再編し、生活環境学部では生活健康・衣環境学科を心身健康学科と情報衣環境学科に改組するなど、変化が大きい。また、**静岡県立大**は短期大学部に設置されていた看護学科の募集を停止するため、4年制の看護学部の募集人員を前期35名→70名、推薦15名→45名と増員する。

来春入試でも、後期日程の廃止がいくつかの大学で予定されている。**岡山大**（医－医）、**九州大**（医－医）の後期日程廃止により、医学科志望者の後期出願先はますます限定されることになる。また、**熊本大**（薬）が後期日程を廃止することから、九州地区で後期日程を実施する6年制の薬学科は九州大（募集人員4名）と長崎大（募集人員10名）のみとなる。今春入試で後期日程を復活させた九州大（薬）が約9倍の志願者を集めたこともあり、地区内の動向が注目される。

その他、**熊本大**（理－理）で推薦入試、**鳥取大**（農－共同獣医）や**長崎大**（医－医）でAO入試が廃止されるなど、AO・推薦入試を廃止する動きも続いている。新規に実施を予定している大学でも、選考にセンター試験を課すなど、大学入試は緩やかに学力重視へ回帰しているようだ。

このほかにも、入試科目の変更、学部・学科の新設・再編や募集区分の変更などを予定している大学がある。本誌19ページ以降に一部をまとめているほか、河合塾の入試情報サイトKei-Netでも最新の情報を掲載しているので、是非ご利用いただきたい。

Part 2 私立大学

ここからは私立大の入試状況を見ていく。本誌4・5月号では、全国主要195大学の一般入試一期の志願状況を速報としてお伝えした。今号では、志願者・受験者・合格者数の集計が完了した全国538大学の入試結果をもとに、2013年度の私立大一般入試についてレポートする。

志願者数、合格者数ともに増加 厳しい入試となったところも

初めに私立大一般入試の近年の状況を振り返っておこう。私立大では2007年度以降、志願者（延べ数：以降全て同じ）は緩やかに増加している。この間、2008年度には都市部にある主要21大学（大学名は【表9】参照）の志願者数がその他の私立大志願者数の合計を上回ったが、2009年度以降は地元志向と安全志向によりその他の大学で志願者が増えており、志願者数は再び逆転し、その差は年々広がっている。

今春行われた2013年度入試の私立大一般入試全体の志願者数は、前年を約18万人上回る297万1千人（前年比106%）であった【表8】。入試方式別の内訳では、一般方式が201万7千人（前年比108%）、センター方式が95万4千人（同103%）と一般方式での増加が目立つ。河合塾が実施した入試結果調査によると、私立大一般入試における受験生1人あたりの受験校数は、4.81校→4.97校と若干増加している。今年はセンター試験が難化したため、弱気になった受験生が国公立大の出願を取り

やめて私立大専願に切り替える、あるいは私立大の出願校数を増やすなどして確実に合格を狙ったものと思われる。

期別に見ると、一期は275万2千人（前年比106%）、二期では22万人（同114%）と二期での志願者数の増加率が高い。今春は18歳人口増によって大学志願者数が増加したこと、安全志向から無理して難関大を受験しない動きが広まったことから中堅私立大の合格ラインが上がり、一期で思うように合格を得られなかった受験生が最後まで粘り強く出願するケースが多かったようである。

次に合格者数を確認する。私立大の合格者数は、定員超過への対応で、2008・09年度の2年ほど減少傾向にあったが、2010年度入試で増加に転じ、今春入試でも私立大全体で前年比103%、人数にして約2万5千人の増加となった。しかし、志願者数の増加率に比べると、合格者数の増加率は低く抑えられている。とくに昨年合格者数が大幅に増加したセンター方式では、前年比98%とかなり絞り込まれており、この結果、倍率（志願者／合格者：以降倍率は全て同じ）は2.9倍→3.0倍とアップしている。

首都圏は難関大ほど低調な動き 近畿圏では志願者増加も合格者は減少

【表9】は首都圏・近畿圏の21大学の入試結果を大学グループ別に集計したものである。主要21大学の志願者数は前年比

【表8】私立大入試結果（一般・センター／一期・二期別）

| | 志願者数 (A) | | | | | 合格者数 (B) | | | | | 倍率 (A/B) | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|----------|---------|---------|---------|-------|----------|-----|-----|-----|
| | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 | |
| 全体 | 2,775,918 | 2,791,137 | 2,971,133 | 101% | 106% | 786,313 | 830,314 | 855,188 | 106% | 103% | 3.5 | 3.4 | 3.5 | |
| 方式別 | 一般 | 1,860,418 | 1,863,328 | 2,017,344 | 100% | 108% | 492,191 | 509,566 | 542,056 | 104% | 106% | 3.8 | 3.7 | 3.7 |
| | センター | 915,500 | 927,809 | 953,789 | 101% | 103% | 294,122 | 320,748 | 313,132 | 109% | 98% | 3.1 | 2.9 | 3.0 |
| 期別 | 一期 | 2,576,303 | 2,598,902 | 2,751,525 | 101% | 106% | 727,277 | 769,774 | 795,496 | 106% | 103% | 3.5 | 3.4 | 3.5 |
| | 二期 | 199,615 | 192,235 | 219,608 | 96% | 114% | 59,036 | 60,540 | 59,692 | 103% | 99% | 3.4 | 3.2 | 3.7 |

※5月31日現在 河合塾集計（538大学判明分）

※2011～13年度の志願者数・合格者数公表大学を集計（合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く）

※集計には公立大学法人へ移行した次の大学の数値を含む（2011・2012年度：鳥取環境大）

※大学公表値には一部推薦入試等の数字が含まれている場合がある 【表9】以降も同条件で作成

【表9】私立大入試結果（主要大学グループ）

| 大学グループ | 志願者数 (A) | | | | | 合格者数 (B) | | | | | 倍率 (A/B) | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|----------|---------|---------|-------|-------|----------|-----|-----|
| | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 |
| 538大学 計 | 2,775,918 | 2,791,137 | 2,971,133 | 101% | 106% | 786,313 | 830,314 | 855,188 | 106% | 103% | 3.5 | 3.4 | 3.5 |
| 主要21大学計 | 1,303,639 | 1,282,314 | 1,320,051 | 98% | 103% | 293,416 | 303,488 | 305,092 | 103% | 101% | 4.4 | 4.2 | 4.3 |
| 早慶上理 | 235,922 | 229,733 | 229,116 | 97% | 100% | 50,317 | 50,292 | 49,866 | 100% | 99% | 4.7 | 4.6 | 4.6 |
| MARCH | 414,677 | 408,533 | 408,859 | 99% | 100% | 76,142 | 77,761 | 79,480 | 102% | 102% | 5.4 | 5.3 | 5.1 |
| 日東駒専 | 232,588 | 223,309 | 229,818 | 96% | 103% | 55,582 | 60,170 | 63,030 | 108% | 105% | 4.2 | 3.7 | 3.6 |
| 関関同立 | 256,466 | 260,498 | 266,249 | 102% | 102% | 73,167 | 74,964 | 73,188 | 102% | 98% | 3.5 | 3.5 | 3.6 |
| 産近甲龍 | 163,986 | 160,241 | 186,009 | 98% | 116% | 38,208 | 40,301 | 39,528 | 105% | 98% | 4.3 | 4.0 | 4.7 |
| 上記以外の大学 | 1,472,279 | 1,508,823 | 1,651,082 | 102% | 109% | 492,897 | 526,826 | 550,096 | 107% | 104% | 3.0 | 2.9 | 3.0 |

※早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科大学

関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館

MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政

産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修

103%と私立大全体ほど増えていない。大学グループごとの状況を見ていくと、「早慶上理」「MARCH」は前年比100%、「日東駒専」は同103%と難関大ほど低調となっている。近畿圏では「関関同立」が前年比102%と2年連続の増加、昨年志願者数が減少した「産近甲龍」が前年比116%と大きく志願者数を増やしている。なお、主要21大学を除いた大学の志願者数は前年比109%と増加しており、受験生の安全志向がうかがえる。

なお、合格者数については、「MARCH」「日東駒専」を除き、やや減少している。合格者数が大きく増加した大学は上智大466人（前年比107%）、専修大743人（同107%）、東洋大1,713人（同111%）、法政大1,409人（前年比109%）、明治大1,351人（同106%）などである。このうち上智大、専修大、東洋大は2年連続の増加となる。一方、合格者数を大きく減らした大学は青山学院大△937人（同91%）、早稲田大△985人（前年比95%）、龍谷大△1,327人（同87%）、関西大△460人（同97%）、関西学院大△964人（同92%）などである。このうち、関西大、関西学院大は志願者数が増加しており、倍率はそれぞれ4.4倍→4.9倍、3.5倍→3.9倍とアップし、厳しい入試となった。

首都圏では地方からの志願者減少 地元志向が顕著に

次に地区別の動向を検証したい。「表10」は今春の私立大の入試結果を地区別に分けたものである。いずれの地区も志願者が増加しており、北海道、北陸、東海、四国、九州地区での志願者増が目立つ。北海学園大（前年比108%）、南山大（同121%）、名城大（同117%）、松山大（同130%）、福岡大（同116%）といった地区の拠点大はもちろん、拠点大を除いた大学の志願者数も増加しており、地元志向が鮮明となった。一方、首都圏では前年比103%と、私立大全体と比べると増加率が鈍い。地元の受験生は増加していることから、地方から首都圏の大学への志願者が減った影響だと考えられる。

「表11」は河合塾の入試結果調査データから「早慶上理」「MARCH」「関関同立」の志願者数を出身地区別に分けたものである。「早慶上理」「MARCH」とも東京の志願者数は増加しているが、他地区出身の志願者はいずれも減少している。「関関同立」は東日本地区の志願者数は減少しているが、近畿地区の志願者数増加に加え、九州地区からの志願者も増えている。

【表10】私立大入試結果（地区別）

| 地区 | 志願者数 (A) | | | | | | 合格者数 (B) | | | | | | 倍率 (A/B) | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|---------|----------|---------|-------|-------|-----|-----|----------|--|--|
| | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 | | |
| 北海道 | 26,550 | 27,366 | 31,381 | 103% | 115% | 14,324 | 14,933 | 16,016 | 104% | 107% | 1.9 | 1.8 | 2.0 | | |
| 東北 | 31,021 | 29,488 | 31,746 | 95% | 108% | 14,862 | 14,887 | 14,696 | 100% | 99% | 2.1 | 2.0 | 2.2 | | |
| 関東・甲信越(首都圏除く) | 32,175 | 34,323 | 36,885 | 107% | 107% | 13,222 | 13,711 | 14,975 | 104% | 109% | 2.4 | 2.5 | 2.5 | | |
| 首都圏 | 1,685,461 | 1,698,077 | 1,755,328 | 101% | 103% | 412,695 | 439,515 | 449,472 | 106% | 102% | 4.1 | 3.9 | 3.9 | | |
| 北陸 | 13,688 | 14,070 | 18,195 | 103% | 129% | 7,159 | 7,217 | 8,653 | 101% | 120% | 1.9 | 1.9 | 2.1 | | |
| 東海 | 199,771 | 205,906 | 244,003 | 103% | 119% | 72,948 | 81,300 | 90,365 | 111% | 111% | 2.7 | 2.5 | 2.7 | | |
| 近畿 | 625,828 | 619,379 | 672,893 | 99% | 109% | 179,456 | 185,581 | 183,420 | 103% | 99% | 3.5 | 3.3 | 3.7 | | |
| 中国 | 40,573 | 43,741 | 45,098 | 108% | 103% | 21,434 | 21,704 | 23,324 | 101% | 107% | 1.9 | 2.0 | 1.9 | | |
| 四国 | 11,540 | 9,912 | 12,047 | 86% | 122% | 6,140 | 6,067 | 6,379 | 99% | 105% | 1.9 | 1.6 | 1.9 | | |
| 九州 | 109,311 | 108,875 | 123,557 | 100% | 113% | 44,073 | 45,399 | 47,888 | 103% | 105% | 2.5 | 2.4 | 2.6 | | |
| 全体 | 2,775,918 | 2,791,137 | 2,971,133 | 101% | 106% | 786,313 | 830,314 | 855,188 | 106% | 103% | 3.5 | 3.4 | 3.5 | | |

【表11】首都圏・近畿圏主要大学の出身地区別志願者数の変化

| 大学 | 北海道地区 受験生 | | | 東北地区 受験生 | | | 関東・甲信越地区 (東京除く) 受験生 | | | 関東・甲信越地区 (東京) 受験生 | | | 東海・北陸地区 受験生 | | | 近畿地区 受験生 | | | 中国・四国・九州地区 受験生 | | |
|------|--------------|-----|-----|-------------|-------|-----|------------------------|--------|-----|----------------------|--------|-----|----------------|--------|-----|-------------|--------|-----|-------------------|-------|-----|
| | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 | 12 | 13 | 前年比 |
| 早稲田 | 530 | 478 | | 1,512 | 1,487 | | 21,111 | 20,445 | | 15,299 | 15,328 | | 5,452 | 5,287 | | 2,114 | 1,876 | | 4,034 | 3,595 | |
| 慶應義塾 | 181 | 158 | 91 | 547 | 466 | 96 | 7,698 | 7,515 | 99 | 6,204 | 6,460 | 103 | 2,366 | 2,324 | 99 | 1,006 | 985 | 95 | 1,930 | 1,581 | 88 |
| 上智 | 64 | 95 | | 253 | 222 | | 5,490 | 6,010 | | 4,425 | 4,674 | | 946 | 958 | | 287 | 315 | | 647 | 547 | |
| 東京理科 | 502 | 425 | | 1,275 | 1,267 | | 10,656 | 10,728 | | 4,908 | 5,246 | | 3,809 | 3,894 | | 482 | 529 | | 1,844 | 1,723 | |
| 明治 | 919 | 756 | | 3,098 | 2,691 | | 23,057 | 21,760 | | 11,954 | 12,228 | | 6,001 | 5,797 | | 1,143 | 1,104 | | 3,980 | 3,849 | |
| 青山学院 | 283 | 223 | | 1,159 | 1,004 | | 10,782 | 11,549 | | 6,290 | 6,255 | | 3,026 | 2,515 | | 595 | 611 | | 1,968 | 1,675 | |
| 立教 | 262 | 266 | 89 | 1,217 | 1,235 | 91 | 16,354 | 16,042 | 99 | 8,689 | 9,088 | 103 | 2,559 | 2,310 | 93 | 415 | 431 | 98 | 1,427 | 1,206 | 92 |
| 中央 | 828 | 787 | | 2,411 | 1,993 | | 13,902 | 13,541 | | 7,262 | 7,424 | | 4,116 | 3,849 | | 758 | 662 | | 2,489 | 2,476 | |
| 法政 | 869 | 792 | | 2,249 | 2,256 | | 18,759 | 19,501 | | 8,171 | 8,811 | | 4,691 | 4,553 | | 645 | 664 | | 2,425 | 2,113 | |
| 関西 | 81 | 79 | | 89 | 114 | | 385 | 362 | | 93 | 88 | | 3,818 | 4,048 | | 23,774 | 26,489 | | 4,798 | 5,340 | |
| 関西学院 | 63 | 56 | | 42 | 49 | | 304 | 239 | | 120 | 88 | | 2,316 | 2,192 | | 16,654 | 17,944 | | 4,310 | 4,596 | |
| 同志社 | 188 | 192 | 94 | 183 | 190 | 83 | 841 | 761 | 84 | 245 | 241 | 91 | 6,746 | 7,061 | 100 | 14,956 | 14,937 | 107 | 5,029 | 5,050 | 104 |
| 立命館 | 257 | 228 | | 656 | 456 | | 2,212 | 1,778 | | 350 | 315 | | 13,453 | 13,058 | | 14,841 | 15,760 | | 9,579 | 9,634 | |

※河合塾入試結果調査データより作成

【表12】私立大入試結果（学部系統別）

| 系統 | 志願者数 (A) | | | | | 合格者数 (B) | | | | | 倍率 (A/B) | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|----------|---------|---------|-------|-------|----------|------|------|
| | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 | 12/11 | 13/12 | 11 | 12 | 13 |
| 文・人文 | 578,460 | 588,495 | 611,320 | 102% | 104% | 169,243 | 177,238 | 185,390 | 105% | 105% | 3.4 | 3.3 | 3.3 |
| 社会・国際 | 248,244 | 248,852 | 247,761 | 100% | 100% | 68,808 | 73,283 | 74,195 | 107% | 101% | 3.6 | 3.4 | 3.3 |
| 法・政治 | 232,068 | 211,954 | 226,284 | 91% | 107% | 69,631 | 73,006 | 73,534 | 105% | 101% | 3.3 | 2.9 | 3.1 |
| 経済・経営・商 | 569,327 | 542,103 | 552,588 | 95% | 102% | 147,355 | 157,245 | 160,841 | 107% | 102% | 3.9 | 3.4 | 3.4 |
| 理 | 111,256 | 117,517 | 126,647 | 106% | 108% | 34,313 | 34,927 | 35,929 | 102% | 103% | 3.2 | 3.4 | 3.5 |
| 工 | 411,606 | 438,532 | 486,359 | 107% | 111% | 133,961 | 143,328 | 147,537 | 107% | 103% | 3.1 | 3.1 | 3.3 |
| 農 | 83,504 | 86,652 | 94,146 | 104% | 109% | 20,982 | 21,935 | 21,677 | 105% | 99% | 4.0 | 4.0 | 4.3 |
| 医・歯・薬・保健 | 251,558 | 270,943 | 321,988 | 108% | 119% | 58,329 | 61,467 | 65,644 | 105% | 107% | 4.3 | 4.4 | 4.9 |
| 医 | 74,362 | 76,805 | 88,291 | 103% | 115% | 5,055 | 5,079 | 5,130 | 100% | 101% | 14.7 | 15.1 | 17.2 |
| 歯 | 4,041 | 4,495 | 5,233 | 111% | 116% | 2,024 | 2,170 | 2,474 | 107% | 114% | 2.0 | 2.1 | 2.1 |
| 薬 | 65,353 | 70,676 | 89,569 | 108% | 127% | 21,411 | 21,901 | 22,542 | 102% | 103% | 3.1 | 3.2 | 4.0 |
| 看護 | 56,598 | 63,192 | 72,548 | 112% | 115% | 13,366 | 15,636 | 17,146 | 117% | 110% | 4.2 | 4.0 | 4.2 |
| 医療技術・他 | 51,204 | 55,775 | 66,347 | 109% | 119% | 16,473 | 16,681 | 18,352 | 101% | 110% | 3.1 | 3.3 | 3.6 |
| 生活科学 | 76,271 | 77,121 | 89,401 | 101% | 116% | 23,089 | 23,901 | 25,724 | 104% | 108% | 3.3 | 3.2 | 3.5 |
| 芸術・スポーツ科学 | 89,062 | 88,175 | 93,235 | 99% | 106% | 25,806 | 27,032 | 26,851 | 105% | 99% | 3.5 | 3.3 | 3.5 |
| 総合・環境・情報・人間 | 124,141 | 120,333 | 121,038 | 97% | 101% | 34,463 | 36,602 | 37,592 | 106% | 103% | 3.6 | 3.3 | 3.2 |
| 全体 | 2,775,497 | 2,790,677 | 2,970,767 | 101% | 106% | 785,980 | 829,964 | 854,914 | 106% | 103% | 3.5 | 3.4 | 3.5 |

※大学計で入試結果を公表している大学は上表には含まない

※一般方式では、学部・学科ごとの志願者数・合格者数を公表していない大学があるため、全体集計値が他と合わない

今春も文低理高、医療系人気が続く

【表12】は系統別の入試結果を集計したものである。大筋は本誌4・5月号でお伝えした内容と変化はないが、特徴的な系統について再度取り上げておく。

文系ではいずれの系統も志願者は減っていないものの、私立大全体が前年比106%と増加していることを考慮すると、相対的に人気は低調といえる。ここ数年、社会科学系の不人気が続いていたが、今春入試では「法・政治」学系が前年比107%と志願者を大きく増やしており、国公立大とは対照的な動きとなった。

理系では「理」「工」「農」のいずれの系統も志願者数が1割近く増加している。とくに理学系は2007年度入試以降、志願者が増え続けており、今春もその勢いに勢いは見られない。

「医・歯・薬・保健」系では、いずれの分野も志願者が増加しており、とくに「歯」「薬」での人気が高い。国公立大ではセンター試験の難化により志願者が減っていた「医」だが、私立大では模試時の動向と変わらず志願者が増えている。

2014年度入試のトピックス

2013年度入試はセンター試験が難化したこともあり、私立大志願者が増加した。景気回復の兆しは見られるものの、依然として厳しい経済環境は続いており、地元志向や安全志向といった入試動向は来春も大きく変わらないだろう。

2014年度入試の大きなトピックとしては、早稲田大（基幹理工）の募集形態の変更が挙げられる。従来の学部一括募集から学系別募集となり、2年次進級時に進級先学科を選択することになる。5月に実施した第1回全統マーク模試では、学部全体で1,857人→2,092人と順調に志望者を集めている。現時点ではボーダーランクに変化はないが、今後の受験生の志望動向に注目したい。ただし、学系間の併願や創造理工学部・先進理工学部との併願はできないので注意が必要だ。ま

【表13】早稲田大（基幹理工）
各学系から進級できる学科と人数の目安

| 学系 | 進級できる学科と人数の目安 |
|-----|--|
| 学系Ⅰ | 数学科 (50名) 応用数理学科 (20名) |
| 学系Ⅱ | 応用数理学科 (40名) 機械科学・航空学科 (150名) 電子光システム学科 (80名) 情報理工学科 (80名) 情報通信学科※ |
| 学系Ⅲ | 情報理工学科 (70名) 情報通信学科※ 表現工学科 (45名) |

※情報通信学科は2014年4月開設予定のため、詳細は未定

た、人間科学部では従来のセンター試験の得点のみで判定する方式に加え、センター試験と数学（記述式）の総合成績で判定する「数学選抜方式」を導入する。

慶應義塾大（経済）は一般入試の募集人員を750名→720名（A方式480名、B方式240名）に減らし、帰国生と外国人留学生対象の入試へ振り分ける。国際基督教大はセンター試験の利用を取りやめ、一般方式のみの募集となる。このほか、昨年度新設された同志社大（グローバル地域文化）がセンター試験を新たに利用するなど、入試方式等の変更も徐々に明らかになっている。

今回は本誌10月号にて、2014年度入試の変更点を交えつつ、最新の入試動向をお伝えする。